

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
配当金受領株主確定日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 ※中間配当の実施を取締役会で決議した場合
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル) 100株
単元株式数	単元未満株式買取手数料 無料
株式取扱手数料	● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
お知らせ	● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 ● 「配当金計算書」について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。



2015年度も過去最高の売上高、営業利益を更新いたしました。
 2016年度を、グローバルリーディングカンパニーとして
 次の飛躍を図るための大きな転換点と位置付け、
 新たな施策を進めてまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当社は、革新的な新製品の開発、海外販売ネットワークの拡充、そして積極的なマーケティング活動によるNSKブランドの浸透等により、歯科医療分野において揺るぎない事業基盤を確立してまいりました。

2015年度は3期連続で過去最高の売上高を達成しましたが、更に2016年度を、次のステップへと飛躍する大きな転換点と位置付け、当社としては過去最大規模の戦略的な事業投資に着手することいたしました。

2016年2月には研究開発・マーケティング機能の強化を図るために新本社R&Dセンターの建設に着手すると共に、生産能力の大幅な増強を可能とするための新工場用地を取得いたしました。これらの積極的な投資により製品競争力を高め、国内外の需要にお応えすることにより持続的な発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待いただくと共に、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
中西 英一



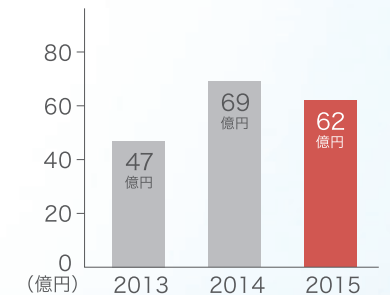
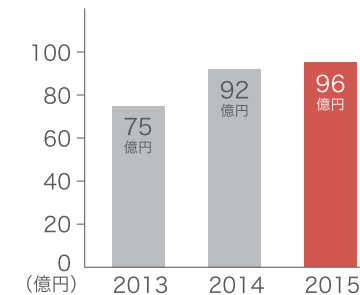
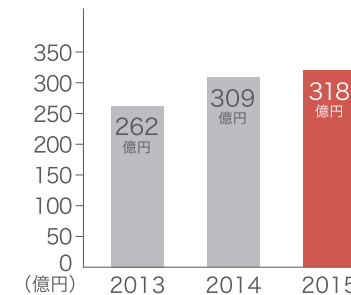

2015年度の事業概況と業績について

大幅に業績を伸ばした2014年度に引き続き、国内外市場の好調な需要を着実に取り込み、前期実績及び計画を上回る増収となりました。円安ドル高となったことによる押し上げ効果もあり、売上高は前期比3.1%増の318億円、営業利益は前期比3.4%増の96億円と、いずれも過去最高を更新しました。

一方、当期純利益は、2014年度に計上していた為替差益の反動により、前期比10.9%減の62億円となりました。歯科製品関連事業は、国内外において積極的なブラン

ディング及び販促活動を展開したことに加え、滅菌器や予防歯科関連製品などの新製品効果もあり、業績は好調に推移しました。主要市場である欧州に加え、アジアでも売上を伸ばした結果、売上高は前期比4.0%増の275億円となりました。

工業製品関連事業は、国内及びアジアを中心としたメーカーからの引き合いは総じて強かったものの、前年の売上に貢献した北米の落ち込みにより売上高は前期比6.1%減の32億円となりました。



歯科製品関連事業の概況について

歯科製品関連事業の主要地域である欧州の各現地法人が順調に推移したほか、アジア地域も大幅に売上を伸ばしました。主力のハンドピース、インプラント及び予防歯科関連製品の拡販と、新製品の発売、世界的なブランディング、アフターサービスの強化を推し進めた結果、堅調な需要に支えられ、前年に引き続き増収となりました。

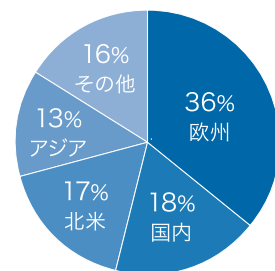
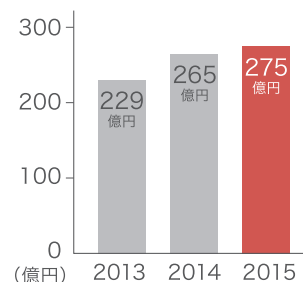
[欧州] 2014年下期にPODIA FRANCE S.A.S.(足病製品事業)を売却したこと、円高ユーロ安の影響による減収要因があったものの、ドイツ、フランス、イギリス、スペインのいずれの現地法人も好調に推移したことにより、前期比3.9%の増収となりました。

[国内] 自社ブランド製品の販売は好調に推移し、新製品である滅菌器も好評を博しましたが、一部のOEM向け製品において、前年の消費税増税による反動減の影響が長引いたことにより、前期比2.5%の減収となりました。

[北米] 一部のOEM向け製品において、前年に受注した入札案件の反動減があったことに加え、自社ブランド製品も伸び悩みが見られましたが、円安ドル高による押し上げ効果により、前期比4.6%の増収となりました。

[アジア] 代理店網整備の効果が表れた中国及び韓国が増収となったことに加え、市場拡大が継続しているインドが売上を伸ばしました。また、タイ、インドネシアなどの東南アジアも好調に推移し、アジア地域全体で前期比29.6%の大幅な増収となりました。

[その他] 中東は地政学的リスクが顕在化しているものの、2015年は落ち込みが見られず、堅調さを保持しました。また、南米はインプラント用モーターが好調であり、オセアニアもプライベート市場が好調に推移しました。一方、ルーブル安の影響が長引くロシアの落ち込みが大きく、その他地域の売上高は前期比4.6%の減収となりました。



歯科製品関連事業
2015年
地域別売上高比率

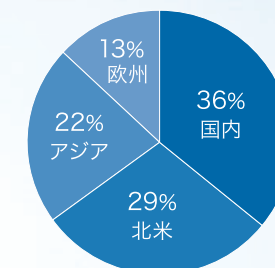
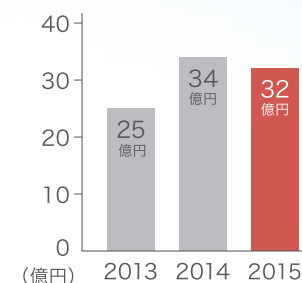
工業製品関連事業の概況について

2015年度の工業製品関連事業の売上高は、北米市場における歯科CAD/CAM関連スピンドルが大幅減となった影響により減収となりました。当社が得意とする小径の高速スピンドルは、高い精度とスピードが要求されるため、追随する企業が少なく、顧客であるメーカーの生産現場から多くの引き合いをいただいております。近年需要が増加している自動車関連メーカーへの対応強化を図るため、2015年6月に中部営業所を開設し、顧客提案を密に行うための拠点を整備しました。また、当社の強みを活かした製品開発を加速させるために、京浜工業地帯に隣接する横浜に開発拠点を開設しました。営業体制の強化に加え、開発体制の整備を行うことにより、中長期的な成長発展を目指します。

2016年度の業績予想について

2016年度も引き続き主力製品の拡販、世界的なブランディング活動を推進し、各セグメント、各地域においてシェア拡大を進めてまいります。歯科製品関連事業におきましてはハンドピース・インプラント用モーター・予防歯科関連製品の拡販に注力し、工業製品関連事業におきましても、顧客提案を積極的に行ってまいります。

引き続き好調な需要を背景に、製品販売数は増加する計画ですが、想定為替レートはUSドル、ユーロともに円高を予想しておりますことから、2016年度は減収となる見通しです。営業利益及び当期純利益につきましては、事業基盤の拡充に伴う費用の増加もあり、減益となる見通しです。なお、2016年度の想定為替レートは1USドル=115円、1ユーロ=125円を前提としております。



工業製品関連事業
2015年
地域別売上高比率

2016年12月期 業績予想

売上高	営業利益	当期純利益
317億円	84億円	54億円
前期比 0.4%減	前期比 12.4%減	前期比 12.6%減

想定為替レート

1USドル	1ユーロ
115円	125円

世界をつなぐ「新本社R&Dセンター」着工

最新鋭の研究開発機能を装備した世界戦略拠点。ここから新しい歴史がスタートします。

「世界をつなぐモノづくりの聖地としてのサニーキャンパス(当社・本社敷地全体の総称)の中核を形成すべくR&D機能を強化し、地元栃木県鹿沼市から常にお客様に感動を与える製品を生み出し続ける姿」をコンセプトとして立案・計画されました。

建築設計は、過去数々の国際的な賞を受賞され、世界的にご活躍の建築家であり、現在、東京藝術大学建築学科教授でもある北川原温先生(株式会社北川原温建築都市研究所)に担当していただきました。

最新鋭の研究開発機能を装備した世界戦略拠点として、お客様に感動を与える製品の開発を実現し、最高のおもてなしと感動を提供してまいります。

■「新本社R&Dセンター」概要

建築面積:4,800㎡ 延床面積:11,900㎡ 地上:4階 完成予定:2017年3月 総投資額:約50億円
(建設費用・什器・その他設備費用を含めた予定額) 設計:株式会社北川原温建築都市研究所 施工:前田建設工業株式会社



完成予想図

■ 研究開発機能強化 | お客様に感動を与える製品をスピーディーに提供

これまで複数の建屋に分かれていた研究開発部門を集約することでコミュニケーションを助長すると共に、研究開発から試作・検証・実証試験に至るシームレスな開発プロセスを整備し、お客様に感動を与える革新的な新製品をタイムリーに市場へ提供できる体制を確立いたします。

■ 接客機能強化 | 全世界のお客様に最高のホスピタリティと感動を提供

全世界のお客様(医療系大学関係者、一般医師・歯科医、厚生省高官、販売ディーラー等)との関係構築とブランド力の向上を図るためのショールーム、セミナー施設を大幅に充実させ、最高のホスピタリティと感動を提供します。

■ 物流・本社管理機能強化 | 効率的なオペレーションの実現

旺盛な製品需要に応えるため、効率的な製品梱包・出荷を行うための施設を整備し、倉庫機能の拡張させた物流施設を併設いたします。本社管理機能も移設し、効率的なオペレーションを推進してまいります。



CENTER COURT (センターコート)

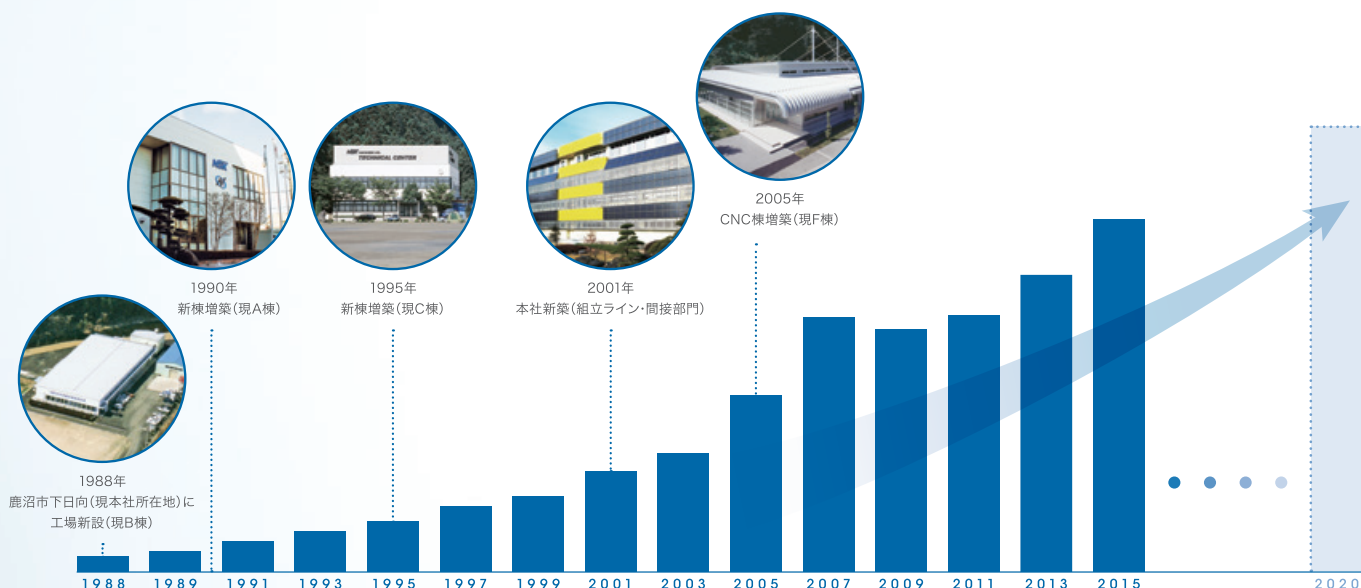
センターコートと呼ぶ逆円錐形の吹き抜け空間をコミュニケーションの場として、その周囲に研究開発機能、接客機能(ショールーム、セミナー施設、ミーティングルーム)、物流機能、本社管理機能を配置いたします。このセンターコートにおいてシンポジウム、セミナー等の各種イベントを開催し、世界に向けて情報を発信いたします。

栃木県鹿沼市の工業団地に工場用地を取得

栃木県鹿沼市の旧本社所在地において工場の拡張を続けた後、1988年に現在の本社所在地に工場を新設しました。その後も、顧客ニーズを捉えた製品の発売、海外販売ネットワークの拡張、ブランド認知度の向上等により増収を続け、生産数量も増加の一途をたどりました。生産数量の増加に伴い、本社敷地内において工場の増築を重ねてまいりましたが、この度、抜本的な生産能力の増強を図るために、栃木県鹿沼市の「宇都宮西中核工業団地」内に約50,000㎡の工場用地を取得いたしました。これにより、生産能力の増強に加えて、災害等に備えたBCP(事業継続計画)の実効性を高めることも可能となりました。

また、「新本社R&Dセンター」建設に伴い、本社敷地内の生産用スペースも増加することから、今回取得した工場用地と併せて生産ラインの再整備も行い、生産効率の向上も図ります。

工場用地の取得による拡張と生産効率の向上により生産能力を大幅に増強し、持続的な成長を目指してまいります。



欧州の中核拠点であるドイツ現地法人に新社屋を増築

～ 物流機能を拡充すると共に、セミナー施設を新設 ～

■ 欧州の中核拠点として物流機能を強化

当社売上高の約3割を占める欧州内における製品供給を迅速に行うために、ドイツ現地法人からフランス、イギリス、スペインの各現地法人に製品を供給しております。また、現地法人がカバーしていない地域につきましても、ドイツ現地法人から各地の代理店に直接製品を供給することにより、欧州全域を網羅する体制を整えております。各地域とも順調に売上を伸ばしており、今後も更なる需要の増加が見込まれること、滅菌器など、新事業の取扱製品の増加も見込まれることなどから、倉庫を拡張し、物流機能を強化した新社屋を増築いたしました。欧州全域の製品供給能力が大幅に増加することにより、更なる売上増を目指してまいります。

■ マーケティングの主要拠点としてセミナー開催機能を付加

歯科製品の先進市場である欧州におきましても、当社製品は高い評価を得ております。今後更に認知度を高め、グローバルブランドを確立するために、欧州全域からお客様を集め、自社内においてセミナーを開催するための施設を新設しました。欧州全域に対するマーケティング活動を積極的に行い、世界的なブランド認知度の向上を図ってまいります。



ドイツ子会社の新社屋

北米において新ブランド戦略の展開を開始 “The skilled hand knows.”

北米市場におけるシェア拡大を図るために、新スローガン『The skilled hand knows.』を掲げた新ブランド戦略の展開を開始しました。2015年11月にニューヨークにおいて開催された北米最大規模の歯科機器の展示会「Greater New York Dental Meeting」のブース展開を皮切りに、Web展開も含めた積極的な広告キャンペーンを実施しました。

北米市場におきましては、現地法人の営業体制の再構築を行い、今年は新たな体制でスタートを切りました。新体制のもと、新ブランド戦略・販売戦略を実行し、自社ブランドの拡販体制を構築いたします。



北米での広告ビジュアル

北米での展示会風景

配当について

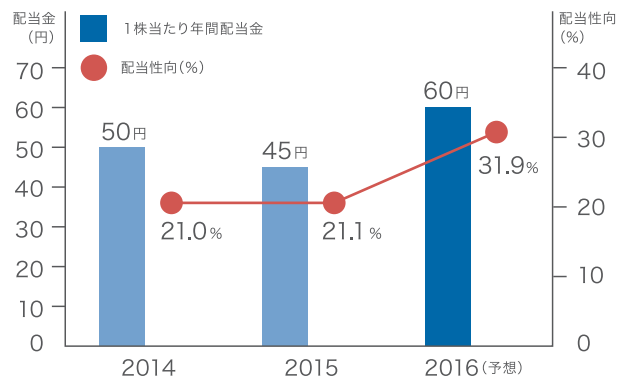
■ 2015年度(実績)

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、業績動向及び事業展開に備えた内部留保等を勘案した上で、安定的に配当を継続することを基本方針としております。2015年度の期末配当につきましては、普通配当20円を予定しておりましたが、通期業績が当初予想を上回ったため、5円増配となる25円といたしました。

■ 2016年度(予想)

2016年度の配当予想につきましては、2015年度の配当額から更に15円増配となる年間配当金60円を公表しております。

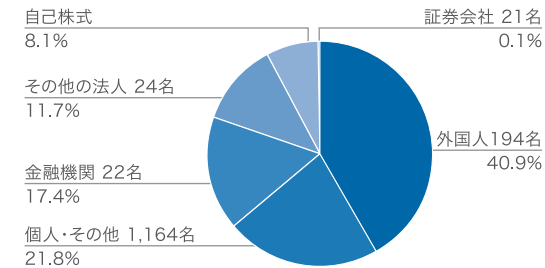
■ 配当金の状況(1株当たり年間配当金・配当性向の推移)



株式の状況(2015年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 …………… 125,000,000株
- 発行済株式の総数 …………… 31,419,800株
- 株主数 …………… 1,426名

■ 株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ナカニシE&N株式会社	1,510千株	5.2%
中西崇介	1,430千株	5.0%
中西千代	1,430千株	5.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,302千株	4.5%
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	1,108千株	3.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,095千株	3.8%
株式会社オフィスナカニシ	1,040千株	3.6%
中西英一	938千株	3.2%
中西賢介	935千株	3.2%
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	755千株	2.6%

(注) 1. 当社は、自己株式を2,544千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要(2015年12月31日現在)

社名 株式会社 **ナカニシ**
 設立 1951年2月
 代表取締役社長 中西英一
 資本金 867,948,542円
 従業員数 884名(連結)
 本社 栃木県鹿沼市下日向700番地
 事業所 本社・工場
 東京事務所
 大阪事務所
 ドバイ事務所(UAE)
 モスクワ事務所(ロシア)

主要関係会社
 NSK-America Corp.(アメリカ)
 NSK Europe GmbH(ドイツ)
 NSK France S.A.S.(フランス)
 NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)
 NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)
 NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)
 NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)
 Dental X S.p.A(イタリア)

主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行

役員 (2016年3月30日現在)
 代表取締役社長 中西英一
 代表取締役副社長 中西賢介
 専務取締役 尾上俊治
 常務取締役 松岡薫
 取締役 野長瀬裕二
 常勤監査役 豊玉英樹
 監査役 染宮守
 監査役 澤田雄二

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二は社外取締役です。
2. 監査役 豊玉英樹、染宮守、澤田雄二は社外監査役です。